

令和3年度 第2回 高砂市総合政策審議会 第1部会

議事録

開催日時	令和3年11月11日(木)10:00~11:45					
開催場所	高砂市文化保健センター					
会長 副会長	山口 隆英 部会長					
委員 (名簿順) 出席 11人	出席	松本 克英委員	出席	見上 恵美子委員	欠席	和田 泰樹委員
	出席	濱中 美佐子委員	出席	春下 充代委員	欠席	藤本 翼委員
	出席	東野アドリアナ委員	出席	山口 隆英委員	出席	大西 正起委員
	出席	福島 孝一委員	欠席	松下 尚平委員	出席	竹田 潔委員
	出席	坂本 竜之介委員	出席	小川 佳宏委員		
議事	<p>協議事項</p> <p>令和3年度実施市民満足度調査結果を受けて、満足度を上げるための協議</p> <p>(1)第5次高砂市総合計画実施計画(行政経営プラン)令和3年度中間評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標2 2-1から2-5の各政策の今後の展開について ・基本目標4 4-1から4-4の各政策の今後の展開について <p>(2)その他</p>					
資料	<p>事前配付資料</p> <p>次第</p> <p>高砂市総合政策審議会の運営に関する規程</p> <p>高砂市総合政策審議会委員名簿</p> <p>第5次高砂市総合計画実施計画(行政経営プラン)令和3年度中間評価</p> <p>市民満足度調査結果</p>					

議事の経過

開会

- <本日の資料の確認>
- <本日の進行について説明>
- <事務局・オブザーバー紹介>
- <会議の成立>

部会長 挨拶

市民満足度調査の結果が出たということで、その辺を中心に議論ができたと思います。本日はよろしくお願いいたします。

協議事項 1

第5次高砂市総合計画実施計画(行政経営プラン)令和3年度中間評価

(事務局)

基本目標2、4について評価いただきしたいと思います。市が行っている政策に対する行政評価を行っていただき、今後の展開として必要なものは何かを審議会としてご意見をいただき、反映したいと考えております。

行政評価の参考として、市民満足度調査結果も見てください、満足度がなぜ低い結果となっているものがあるのかについても皆さんの忌憚のないご意見をいただきます。

2-2公共交通が暮らしの利便性を向上させるまち【公共交通政策】

(会長)

市民満足度調査で一番評価の低かった公共交通の部分から審議します。

コミュニティバスの乗降客数をみていただくとわかるかと思いますが何が下がる原因となったかご意見をお願いします。

(委員)

バスはバス停にしか停まらないですか。ブラジルでは、走るルートは決まっていますが、タクシーのように手を上げたら乗ることができる。バスタクシーのようになると利用者が増えるのではないのですか。

(都市創造部長)

10月からダイヤを再編しており、乗降の少ない場所を再編しています。各バス停は約300メートルの範囲で配置しています。今回の近隣の店舗にご協力いただきバス&ライドとしてバスを利用する方に駐輪場を開放していただく取り組みを実施し、60箇所のうち26箇所のバス停までは自転車で来られるようになりました。自転車に乗れる方にとっては利便性が向上しています。

(委員)

タクシーにするのは難しいですか。

(都市創造部長)

コミュニティバスは、定時定路線としてある程度認可という形でルートが決まっています。

(委員)

私は阿弥陀町に住んでいるが、廃止になりました。来るときも曾根行きバスとすれ違ったが車内は空だった。前の会合で通勤の方が多く利用されていると聞いたので、通勤の人に重点を絞り、利用される時間帯を手厚くし、利用が少ない地域には別の手段を考えていただきたい。

(部会長)

利用目的に対して、今試そうとしていることはありますか。

(都市創造部長)

再編までの間、約2年間で一般の世帯7000件や利用者アンケートを実施し、再編しました。コミュニティバスに誰も乗っていないという声はよく伺います。今回の再編では限りなく乗っておられない路線は廃止いたしました。市内5台走っているバスを効率的に運用できるよう再編し、乗降客数は若干伸びています。資料にある乗客数の減少原因はコロナの影響で

す。通常の形に戻ったときにどの程度伸びてくるかを観察し、市民の皆様にお伝えしていきます。

(委員)

バス停まで自転車で行くということですが、高齢者は自転車に乗れない方もおられます。曾根町の方が高砂町まで行くのに40分かかると言っておられる方もおられました。あっちこっち回って乗客を増やしたいのかもしれませんが、遠回りになっているのではないですか。

(都市創造部長)

サイクル&ライドは利便性を高めるために実施していますが、高齢者の方の中には自転車に乗られない方もおられ、徒歩となるということも承知しています。タクシーも公共交通の1つですので使い分けをお願いします。また、ルート再編にあたり遠回りしている路線もあります。今回の再編については、乗られていないルートを廃止し、乗り継ぎすることで素早く着くようにしています。1日乗車券を100円値下げして300円で販売しており、広報たかさご11月号に無料券をつけています。運転士に見せていただくと1日無料で乗車できるので是非体験していただきたいです。

(委員)

市の方はルートや行先など細かく調査されており、主に病院や買い物等にルートを絞って選定されていると思います。

それをフォローする形でデマンドタクシーというのがあり、細かくルートを取ってタクシーを走らせる。バスと競合する路線は駄目とかいろいろな制約がありますが、成功している例としては、川西市の日生ニュータウンというところで利用率が高いです。なぜかという市の範囲が狭く、行き先が病院やショッピングセンターなどでだいたい決まっていることです。加古川市も今やっているが、市域が広いと時間的に間延びしてしまっ行きは良くて帰りの時間がはっきりしないという課題もあると聞いています。稲美町は、制限はありますがタクシーチケットを配布して、利用を促しておられます。ご苦労されていることもよくわかるので、それをフォローできれば利用につながると考えています。

また、駅周辺整備では、高砂駅前のショッピングセンターがなくなってかなり時間がたっているのを早くやっていただきたい。山電高架化は県でも進めているところです。

(部会長)

デマンド交通について市で進めていることがあればご紹介いただけますか。

(都市創造部長)

デマンド交通は、コミュニティバスとタクシーの中間の役割を担うものと捉えています。成功例失敗例ありますが、地域性によるものと考えています。今回、高砂市においては阿弥陀地区についても検討していますが、2号線から続いているところであり、課題となるのはタクシーとの競合とコストの問題で実施が難しく今回は見送りをしています。今後は、予約のシステム等新しい技術が出てきており効率的な運用ができればデマンド交通も公共交通を補完する機能として必要ではないかと考えています。

また、病院への便も今回約2~3割増便しております。お見舞いの方が市民病院に来られる場合は、荒井駅が最寄となることをお知らせしております。年齢や介護度等の条件もありますがタクシー券の助成も福祉部で行っています。

高砂駅前については、古い感じは良いんですが、あまりにも変わらず老朽化が進んでおり、

駅前の玄関口としてはどうかということもあります。現在高砂駅の南側については基本計画を策定し、地元の方と協議をしているところです。コロナの関係で地権者の方との接触ができずに遅れているというのが現状です。県の方で行っていただく連立立体と相乗効果があるように進めていきたいと考えています。

(部会長)

高砂には、都市間交通として北側の JR が東西に移動することができ、大きな街と繋がる電車、南側には大きい街間を動ける山陽電車があります。JR と山陽電車の間の南北間の移動がないことが課題でした。

もう1つは、駅に移動したとしても駅が最終目的地ではなく、別の目的地までつながっているので、その一番初めの起点になる場所から利用者をどうやってピックアップしていくのかも考える必要があります。市民満足度を向上させるうえで市が取り組んだらよいのかをご意見を伺います。JR の速さなのか、最初にバスに乗るまでの移動の手助けなのか、駅に運ばれても困ると、目的地に直結する路線としてもらう方が満足度が上がるのかなどご意見を伺いたいです。

新快速を停車させてほしいという要望は以前から行っているが実現は難しいところです。ほかに何か改善のポイントはありますかということですが、少し難しいようですね。

コミュニティバスの運行に関しては便利に運行すること、効率的に運行することの2つの課題があるので、少し問題を分解してどこか1つでもポイントとして改善できればと思います。また別の機会にでもご意見をいただければと思います。

2-3 資源を生かした特色ある産業、暮らしを支える産業があるまち【産業政策】

(部会長)

産業活性化策、雇用対策、都市の振興、市の創業者支援など、どういう部分に問題があるかについて、こういうところに力を入れたらよいか等ご意見をお伺いします。

(委員)

資源とはどういうものを指しているのですか。特色ある産業とは何のことなのかがわかりにくいです。

(生活環境部長)

資源というのは、高砂市に特色のある資源です。竜山石や松右衛門帆布や地場産業の資源です。農作物でいえばブルーベリーなどの地元の資源です。技術革新については、浜手の企業さんの工業部門ということになり大きな意味での資源です。

(委員)

地場産業の例として竜山石などが出ましたが、言葉が悪いが小さすぎてピンとこない。浜手の企業についても、高砂市が関わってこのようにしようという働きかけをしているのか、大手だからあまり関わらずに独自でやってくれということなのかなどのようになっているのですか。

(生活環境部長)

事例として1つ2つしか出していませんでしたが、従来からある地域ごとの資源を発掘できるものはないか、眠っている資源はないのか、掘り起こしや潜在している資源があれば活かしていきたいという意味で記載しています。

(委員)

市民アンケートの結果からは資源の重要度としては、そんなに高くないと考えてられています。なんとなく総花的にすべてのことをやろうとしているようです。時間もお金も有限なので、優先順位を考えて議論をするべきだと思います。言い方は悪いですが諦めるものは諦めないと話が進まないと思います。

(委員)

商業の満足度が上がったのは、コロナの影響なのか活性化しているようです。

(事務局)

商業の満足度が上がったことについても、皆さんがどう考えているかお伺いしたいです。おそらくコロナ禍で外出しにくい中で地域に目を向いたのではないかと考えています。

(委員)

逆に、コロナが収まったら満足度が下がってしまうのか懸念します。

(委員)

政策の中で、水産業はどこ行ったのでしょうか。高砂には山も海もあって豊富に資源は眠っていると思っています。自分も新しい産業ができないかと思い、10年かけて牡蠣の養殖を行い少しずつ出荷できる段階にまで来ています。その中で市のバックアップについて考えましたが足りていないと思います。予算や補助金等で手助けしていただくのは、県とか国からとかで、市からの手助けはまずないです。農業されている方が多いですが、多くは兼業です。水産業は専業でやっている人がほとんどなのに政策として記載がないのはなぜですか。

(生活環境部長)

「産業」として大まかな記載となっておりますが、水産業も農業も含めて産業であると考えています。アンケート自体も、記載の都合上産業としてまとめてしまっていますが、水産業も入っていると考えています。漁協農協とともに後継者問題等事業者さんと検討を進めています。総合計画の中で記載がないのはご指摘の通りです。

(委員)

私は兼業農家ですが、山の整備の際も県からの補助でした。利害関係もあり難しいと思いますがお金の使い方も思い切って変えないと農業も大変です。

(部会長)

資源技術とは何かははっきりすると予算にメリハリがでると思います。それで高砂市の南側には大企業が多くあり、大企業に対して市から何かいうことは難しいと思いますので地元業者との関係について連携を強化するなどの面で市がサポートできるかもしれません。起業家の育成、新しいビジネス機会への市からのサポートということも考えられます。農業水産業は独自の資源を作りやすい分野なので、都市農業や地産地消、フードマイレージに上手く地元の方に関わってもらえるのか考えていただきたいです。そこに新しいビジネスチャンスが出てくると思いますので、高砂市の資源産業について、改めてもう一度議論することで気付けたので、考えていただきたいです。

2-1 住民が望む、暮らしに良好な住環境のまち【まちづくり政策】

(部会長)

特に宅地化の推進、自転車道の整備などは数値が出ていないですが、いかがでしょうか。特

になければ次の議論に先に進みます。

4-1 市民が求める能力を持つ人材が育つまち【職員育成政策】

4-2 つかいたくなる公共施設が気持ちよく利用できるまち【公共施設政策】

4-3 情報の公開と活用が進み、市民サービスが向上するまち【情報政策】

(部会長)

何かご意見、ご質問あればお願いします。

市内の情報発信についてサポートしてくれる市民の方など、情報提供してくれる市民の方との関係はどうなっていますか。情報発信のネタは市民の方が持っていると思いますが、それをつかむ方法についてはどうなっていますか。

(事務局)

職員個人のつながりや、今後必要なものとしてシティプロモーション戦略の策定を挙げています。

(委員)

能力が高い職員の方は、出世が早く異動も多く小回りが効かなくなっている印象があります。その部署に特化した方がおられると話がしやすいです。

(総務部長)

確かに人事異動、職員配置上致し方ない部分もありますが、一定のスペシャリストについて産業、福祉、ICTなど分野で必要性を感じています。人材の育成には時間もかかりますので専門人材を任用できるように条例改正も行ったところです。

(部会長)

市とのパイプ作りについて、関係が途切れないようにする方法について何かありますか。

(総務部長)

異動の際の引継ぎ、組織として状況を把握し組織的な対応を行いたいと考えています。

(部会長)

令和3年度に地理情報システムができたとありますが、どういったものか説明を事務局お願いします。

(事務局)

地図上に位置情報を表示。検索できるシステムで来年1月に稼働する予定です。

(部会長)

プロモーションについてはいかがですか。

(事務局)

シティプロモーション戦略については整理中です。市の情報の入り口となるホームページは出来る限り見やすくしています。ワクチンの予約などシステムにつなげるものもあります。

広報の手法としては、チラシを配る、自治会に配布をお願いするなど原始的な方法もあります。内容についても注意喚起やお知らせなど多岐に渡り、それぞれの目的に応じて適切な手法を取っていきたいと考えています。

(部会長)

公衆無線 LAN はいかがですか。

(事務局)

情報弱者をなくしたいという考えから、必要な情報が通信料を気にせずに入手できるように公衆無線 LAN を公共施設に整備しているところです。

(委員)

小中学生にタブレット配布していますが。授業で使うと、家に帰って保護者にも見せるので情報発信の活用ツールになると思います。

(部会長)

良い方法ですので教育部とも協力していただきたいと思います。

市民からの情報をどう拾うのかについて、公衆無線 LAN を設置するなど対応されていますが、カフェを利用するのも無線 LAN のためということもありますので、今後も進めていただくと数値の向上につながると思います。その他、委員の皆様で気になる点などあればお願いします。

(委員)

満足、不満足ありますがこれだけたくさんあると市民の満足度なかなかあがらないと思います。満足度をブラッシュアップして一番を目指す項目を決め、満足度が高い項目に力を入れるのも対応としては良いと思います。

(委員)

公共施設政策について、公民館は日曜日開いていないのですか。アンケート結果が「どちらとも言えない」が多いので、高砂市としてこれをやるというものを出してほしい。

(事務局)

公民館は隔週日曜日開館しています。

(委員)

日曜日こそ活動の場であるので開けてほしいです。

(委員)

高砂町に住んでいるが山電高砂駅の整備が進むと満足度も上がると思います。高架化など進めていただくと孫世代の評価は上がると思います。

(委員)

アンケートの結果は、質問されたから回答していると思います。不満がある人は自分で動いている。産業についても他の委員のように動いておられると思うので、そこへの支援をお願いしたいです。

(委員)

浜手の大企業と竜山石やブルーベリーだと、大企業さんはアピールしていないと思います。個人事業主さんに補助を付けるなどしてアピールしてもらうことをメインにしないと特色が見えないと思います。

(委員)

新庁舎は11月からオープンしますが案内係の方はいらっしゃいますか。

(公共施設マネジメント室長)

玄関に1名配置しています。竣工して1週間は応援職員等で案内を行う予定です。

(部会長)

案内係については新庁舎になる行先が不明となるのでよろしくをお願いします。市民満足度調

査の不満足な部分についてご意見をいただきました。あわせてどこかで高砂市の強み、持っている資源について把握し、強みを作っていく、弱みを改善するだけでは市民に納得してもらえないと思いますので、市民の方に聞いたときにぱっと出るような強みを見つけていただきたいと思います。

2 その他

なし

(事務局)

次回の議論は来年1月を予定しています。本日午後から第2部会を開催します。その結果も1月にお示しします。本日はお忙しい中ありがとうございました。

以上